



赤石岳

南アルプスの環境保全と 魅力発信の取組

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課

南アルプスの環境保全と魅力発信の取組

1 はじめに

南アルプスには、氷河期時代の遺存種や、南アルプスが世界の分布の南限となっている種が生息するなど希少な自然環境や生態系を有しており、「世界の宝」としてユネスコエコパークに登録されています。

しかし近年、地球温暖化や地域社会の担い手減少などにより南アルプスの自然環境が衰退していることから、これを保全し、未来につないでいくことが求められています。

静岡県では、南アルプスを守り、その魅力を国内外に発信するとともに、次世代につなげる様々な取組を開始しています。

2 取組概要

(1) 南アルプス生態系保全

| 区分 | 主な取組 |
|------------|--|
| 高山植物の保全 | ○防鹿柵の整備 ニホンジカの食害から高山植物を保全する防鹿柵の設置及び管理 ・5か所（荒川岳、三伏峠、本谷山、茶臼岳、聖平） |
| | ○ニホンジカの試験捕獲、調査 高山植物の食害地でのニホンジカの試験捕獲、調査 |
| 絶滅危惧種の保護 | ○高山植物種子保存プロジェクト 次代担う高校生と協働し、絶滅が危惧される高山植物の種子の保存、増殖 ・県内7高校との協働によるオオサクラソウ等の種子の保存・増殖 |
| | ○南アルプス動植物調査 新種や希少種の発見、動植物保全の基礎資料作成のため、高山植物、昆虫等を山岳地帯で調査 |
| | ○高山植物ドローン調査（R5終了） 学術的価値が高い高山植物が生育している可能性がある場所を撮影し、希少種の有無を調査 |
| 南アルプス学会の運営 | ○南アルプス学会 学術研究の体系化及び研究活動の活性化に資する研究を支援 ・研究費の助成、研究成果発表会の開催 |



ボランティアによる高山植物を保全する防鹿柵の整備

(2) 南アルプス魅力発信

| 区分 | 主な取組 |
|------------------------|---|
| 次代を担う子ども達に向けた取組 | <p>○南アルプスの宝箱（たからばこ）</p> <p>南アルプスの希少かつ貴重な自然環境の保全の重要性や魅力について、次代を担う子ども達に伝えるため、魅力発信・環境学習サイト「南アルプスの宝箱（たからばこ）」の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生向け・中学生向けクイズ各 101 問、環境教育プログラム 13 本 |
| アクセス環境の整備 | <p>○南アルプス交通アクセス改善検討会議</p> <p>多くの人々が南アルプスに訪れることができるよう、利便性の高い公共交通体系等を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡駅から樫島までを直通で結ぶ登山タクシーの試行 |
| 地域資源の活用・発信 | <p>○YouTube「みんなの南アルプス」・「南アルプスユネスコエコパーク」</p> <p>南アルプスの魅力発信のため、ユーチューブにより動画を配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山やドローン動画、有識者等による自然解説 158 本 |
| | <p>○普及啓発イベント</p> <p>南アルプスでの取組や魅力を発信するため、ショッピングモールや登山用品店等でイベントを実施</p> |
| 南アルプスを未来につなぐ会の運営 | <p>○南アルプスを未来につなぐ会</p> <p>南アルプスの自然環境をより良い形で未来につないでいくことに貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全や利活用等をテーマとしたシンポジウム等の開催 ・南アルプスがもたらす恩恵を認識し、次世代に継承するための「南アルプスが輝く未来デザイン」を作成 |
| 南アルプスユネスコエコパーク 10 周年連携 | <p>○南アルプス写真・動画コンクール</p> <p>ユネスコエコパーク登録 10 周年を記念して、南アルプス写真・動画コンクールを実施</p> |



レンジャーが見つめた南アルプスの四季

みんなの南アルプス
チャンネル登録者数 1330人

チャンネル登録

👍 12

🔔

🔗 共有

📌 保存

⋮

魅力発信動画の作成（動画中の鳥はライチョウ）

3 具体的な事例

(1) 防鹿柵の整備

- ・ ニホンジカの食害から貴重な高山植物を保全するため、平成14年度から防鹿柵を設置し、管理を継続中。
- ・ 当初、聖平から開始し、現在は5箇所（荒川岳、三伏峠、本谷山、茶臼岳、聖平）に拡大。
- ・ ボランティア団体(南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク)と協働して整備。



かつてのお花畑
1981年

坂東明文氏撮影



シカの食害により植生が衰退
2009年

鵜飼一博氏撮影



防鹿柵整備により復元
2015年

(2) 高山植物種子保存プロジェクト

- ・ 氷河期の遺存種や、南アルプスだけに分布する固有種等、貴重な高山植物の絶滅を防ぐため、種子を適切に保存するほか、次代を担う高校生が種子増殖を目指す研究を実施。
- ・ 令和3年度から、本プロジェクトへの理解を深めるため、参加校の生徒が千枚岳に登山して現地の環境等を学習。

南アルプス高山植物種子保存プロジェクトに取り組む高等学校

| 年度 | 学校名 | 取組種 |
|--------|---------------------|----------|
| 令和2年度～ | 静岡県立磐田農業高等学校 | タカネマンテマ |
| 令和3年度～ | 静岡県立田方農業高等学校 | アカイシリンドウ |
| | 静岡県立静岡農業高等学校 | オオサクラソウ |
| | 静岡県立藤枝北高等学校 | サンブクリンドウ |
| | 静岡県立富岳館高等学校 | オオサクラソウ |
| | 静岡県立浜松湖北高等学校 | オノエリンドウ |
| 令和5年度～ | 学校法人静岡理工科大学 静岡北高等学校 | オオサクラソウ |



種子の増殖にチャレンジする高校生



プロジェクトに取り組む高校生が千枚岳に登山して現地の環境等を学習

(3) 南アルプス動植物調査

- ・新種や希少種の発見、動植物保全の基礎資料作成のため、高山植物、昆虫等を山岳地帯での調査を実施。
- ・昆虫類、クモ類で、雌個体のみの捕獲を行った未記載種（新種）や日本初記録の可能性のある種について、確実な同定を行うため雄個体の調査を実施。

| | |
|----|--|
| 年度 | 令和3年度 |
| 期間 | 令和3年7月9日～令和4年2月28日 |
| 場所 | 静岡県内南アルプスユネスコエコパーク登録エリア（千枚岳周辺） |
| 結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの国内における採集例が、1959年、1962年、1968年における3例しか報告されていないキタダケヨトウ（蛾）を発見。 ・本種は静岡県のレッドデータブックにおける県独自の 카테고리 では、「分布上注目種(*)」というランクに該当。 <p>(*) 分布上注目種：絶滅の危険性は小さいものの、分布が局限されており、本県では遺伝的・形態的に特異である種。</p> |

| | |
|----|--|
| 年度 | 令和4年度 |
| 期間 | 令和4年6月14日～令和5年2月28日 |
| 場所 | 静岡県内南アルプスユネスコエコパーク登録エリア（聖岳～易老岳主稜線部周辺） |
| 結果 | <p>本州初記録となる種を、ハエ目で1種確認。</p> <p>県内初記録となる種を、ハエ目及びクモ目で1種ずつ確認。</p> |

| | |
|----|--|
| 年度 | 令和5年度 |
| 期間 | 令和5年6月7日～令和6年2月29日 |
| 場所 | 静岡県内南アルプスユネスコエコパーク登録エリア（間ノ岳、農鳥岳周辺） |
| 結果 | <p>新知見に該当する種(*)を、チョウ目で9種、ハエ目・コウチュウ目で1種ずつ確認。</p> <p>(*) これまで静岡県等で記録がなく、初記録とみられる種。</p> |

| | |
|----|--|
| 年度 | 令和6年度 |
| 期間 | 令和6年6月12日～令和7年2月28日 |
| 場所 | 静岡県内南アルプスユネスコエコパーク登録エリア（千枚岳、荒川岳周辺） |
| 結果 | <p>昆虫類、クモ類の追加調査を実施。</p> <p>（雌個体のみの捕獲で確実な同定には至っていないが、未記載種や本州初記録の可能性のある種について実施。）</p> |

(4) 高山植物ドローン調査

- ・ 学術的価値が高い高山植物が生育している可能性がある場所を撮影し、希少種の有無を把握するため、ドローンによる調査を実施。

| | |
|----|---|
| 年度 | 令和3年度 |
| 期間 | 令和3年7月12日～15日及び9月13日 |
| 場所 | 荒川岳周辺 |
| 結果 | キタダケヨモギ（絶滅危惧ⅠB類）、ウラジロキンバイ（絶滅危惧Ⅱ類）等9種の希少種4,500個体以上を発見。 |

| | |
|----|--|
| 年度 | 令和4年度 |
| 期間 | 令和4年7月30日～令和4年8月3日 |
| 場所 | 赤石岳周辺 |
| 結果 | キタダケデンダ（絶滅危惧種ⅠA類）、ウラジロキンバイ（絶滅危惧Ⅱ類）等5種の希少種1,000個体以上を発見。 |

| | |
|----|--|
| 年度 | 令和5年度 |
| 期間 | 令和5年7月30日～8月4日 |
| 場所 | 間ノ岳、農鳥岳周辺 |
| 結果 | カンチャチハコベ（絶滅危惧ⅠA類）、クモマスズメノヒエ（準絶滅危惧）等3種の希少種を90個体以上を発見。 |



キタダケヨモギ（絶滅危惧ⅠB類）

(5) 南アルプス学会

(事務局：静岡県ふじのくに地球環境史ミュージアム)

- ・ 南アルプスの自然環境の保全や、地域コミュニティ・文化の継承も視野に入れた研究活動の活性化を図るとともに、学術研究を体系化し、世界に通じる「南アルプス学」の構築と発展に寄与するため、令和4年2月15日に設立され、県では事務局を担い運営を支援。
- ・ 南アルプス地域における研究に対して助成を実施（R5～）。令和5年度は7件、令和6年度は8件を採択。
- ・ 研究成果を普及するための研究成果発表会を実施。



研究成果発表の様子（令和6年3月16日）

令和5年度に採択された7課題の概要

| 代表者名 | 所属等 | 研究課題 |
|--------|-------------------------|--|
| 赤穂雄磨 | 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 | 南アルプス地域におけるエスノスケープの保全に着目した冒険観光の可能性 |
| 東城幸治 | 信州大学 学術研究院理学系 (生物科学) | 南アルプス形成に関わる水生昆虫類の遺伝的分化・分子系統地理的研究 |
| 張曼青 | 京都大学フィールド科学教育研究センター | 南アルプス農山村地域の生業変容を生きる女性たちの生活史研究ー伝統焼畑農法と雑穀文化の維持に着目しながらー |
| 外立ますみ | 常葉大学 造形学部 | 井川地区の民具収集・研究プロジェクト |
| 小山拓志 | 大分大学 教育学部 | 南アルプス高山帯における構造土の3次元地形モデルと形成過程 |
| 池ヶ谷のり子 | 静岡県自然環境保護調査委員会菌類部会 | 県民参加型の南アルプス地域における菌類調査 |
| 米岡克啓 | 東京都立大学大学院、牧野標本館 | 南アルプス地域におけるシダ植物の見逃された種多様性の解明 |

令和6年度に採択された8課題の概要

| 代表者名 | 所属等 | 研究課題 |
|-------|-------------------|--|
| 谷口ジョイ | 静岡理工科大学情報学部 | 南アルプス井川における消滅危機方言の記録保存と継承 |
| 高見泰興 | 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 | 南アルプス深南部におけるオサムシの三つどもえ交雑帯の実態解明 |
| 糟谷大河 | 慶應義塾大学経済学部 生物学教室 | 南アルプス地域の線状凹地に形成された池の成り立ちと菌類相・珪藻相の変遷を探る |
| 楠城一嘉 | 静岡県立大学グローバル地域センター | 静岡県北部の地殻活動と湧水から南アルプスを把握するプロジェクト |
| 相原隆貴 | 筑波大学生命環境科学研究科 | 本州中部山岳の南端における樹木の遺伝的分化と森林形成の歴史 |
| 一色智仁 | 東北大学大学院 | 南アルプスにおける山岳建築の歴史 |
| 外立ますみ | 常葉大学造形学部 | 井川地区の民具収集・研究プロジェクト2 |
| 片岡利文 | 東京都立大学牧野標本館 | 次世代DNA バーコードによる南アルプス固有新種の探索 |

(6) 南アルプスの宝箱（たからばこ）

- ・南アルプスの希少かつ貴重な自然環境の保全の重要性や魅力について、次代を担う子ども達に伝えるため、魅力発信・環境学習サイト「南アルプスの宝箱(たからばこ)」を開設。
- ・小学生向け・中学生向けクイズ各 101 問、環境教育プログラム 13 本で構成。

Q 問題

南アルプスで生息しているミヤマシロチョウは、あることが原因で、現在絶滅の危機に瀕しています。それはなぜでしょうか？



ミヤマシロチョウ（撮影者：荒川史子）

💡 ヒント

いくら好きだからと言って、野生のものを獲ってはいけません

正しいものをクリックして下さい。

幼虫が冬を越すためのスペースがなくなりました。

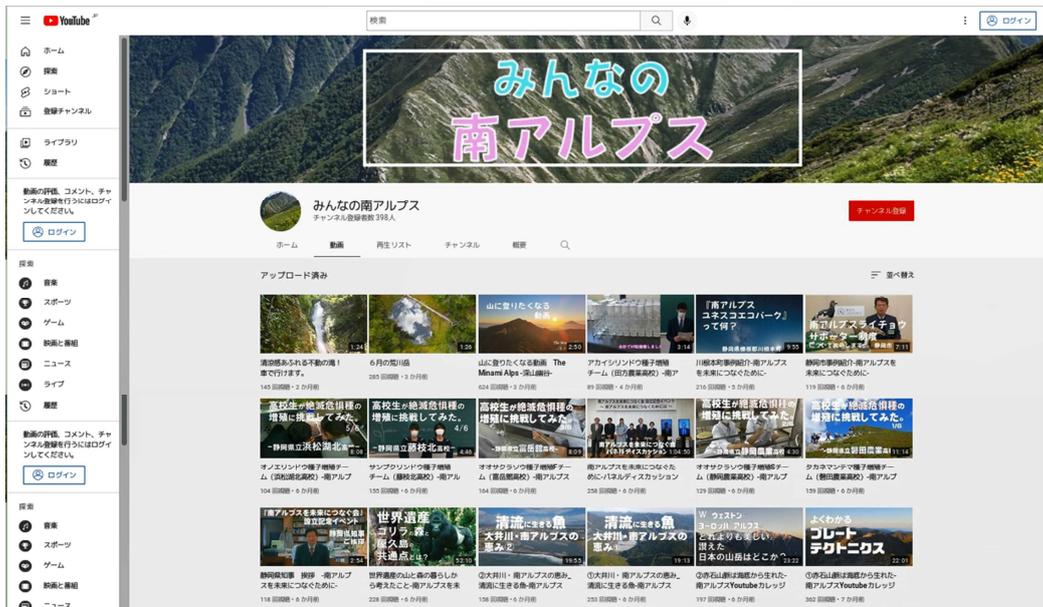
幼虫が集団で冬を越すところを人間が乱獲してしまったから。

冬が越せなくなるくらいに気候が寒くなってしまったから。

南アルプスを学習するクイズ（南アルプスの宝箱^{たからばこ}）

(7) YouTube「みんなの南アルプス」・「南アルプスユネスコエコパーク」

- ・南アルプスの魅力発信のため、ユーチューブにより動画を撮影し配信。
- ・現地の特徴的な自然環境をドローンで撮影した動画や、地域資源や南アルプスにおける保全・利活用に関する活動等を紹介（R2～）。
- ・南アルプスに関連する有識者（大学教授、著名人）等20名による講座の動画で、希少な動植物や地質等の学びの場となっている（南アルプスユーチューブカレッジ）（R3、4）。
- ・合計本数：158本、再生回数：236千回（令和6年7月末現在）。



ホームページ画面



南アルプスの紅葉を紹介する動画

令和5年度に掲載した動画一覧

| 分野 | 内容 |
|------------|----------------------------------|
| 高山植物 保全 | 天空のお花畑を未来へとつなぐ活動 第1編「早春_融雪状況調査編」 |
| | 天空のお花畑を未来へとつなぐ活動 第2編「春_修繕作業編」 |
| | 天空のお花畑を未来へとつなぐ活動 第3編「夏_植生調査編」 |
| | 天空のお花畑を未来へとつなぐ活動 第4編「夏_大規模修繕作業編」 |
| 紅葉 | 落差2000メートル紅葉の壁 前編 |
| | 落差2000メートル紅葉の壁 後編 |
| 四季 | レンジャーが見つめた南アルプスの四季 |

令和6年度に掲載した動画一覧（令和6年10月末現在）

| 分野 | 内容 |
|------|--|
| つなぐ会 | 南アルプスの魅力と未来を語る！～現代の冒険と挑戦～Vol. 1 南アルプスが輝く未来デザインの紹介 |
| | 南アルプスの魅力と未来を語る！～現代の冒険と挑戦～Vol. 2 山極会長挨拶 |
| | 南アルプスの魅力と未来を語る！～現代の冒険と挑戦～Vol. 3 パネリストの活動紹介 |
| | 南アルプスの魅力と未来を語る！～現代の冒険と挑戦～Vol. 4 パネルディスカッション |

(8) 南アルプスを未来につなぐ会

(事務局：静岡県くらし・環境部環境局自然保護課)

- ・令和3年7月14日に、南アルプスの自然環境をより良い形で未来につないでいくことに貢献することを目的に設立され、県では事務局を担い運営を支援。
- ・会員登録者数は、個人820名、団体32名、計852名・団体（令和6年7月31日現在）。
※オーストリアウイーン在住の邦人からも会員登録があるなど、
本会は海を越えて世界クラスの取組となっている。
- ・南アルプスの魅力を多くの人に知っていただくため、自然環境の保全や利活用等をテーマとしたシンポジウム等を開催。



シンポジウムの様子（令和6年3月27日）

- ・南アルプスがもたらしてきた数多くの恩恵や魅力を再認識し、静岡県域の南アルプスが次世代に引き継がれていく姿をそれぞれの主体が共有して、行動を働きかけるため「南アルプスが輝く未来デザイン」を策定。



南アルプスが輝く未来デザイン

(9) 南アルプス写真・動画コンクール

- ・南アルプスがユネスコエコパークに登録されてから10周年を迎えることを記念して、南アルプスの魅力を広く発信し、南アルプスにより多くの皆様が訪れるきっかけとしていただくことを目的に、静岡県域の南アルプスの写真・動画コンクールを実施。

南アルプスユネスコエコパーク
登録10周年記念

南アルプス 写真・動画 コンクール

2024 7.1 MON >> 10.31 THU

登山中、旅行中の風景、
家族、生き物など
何でもOK

対象エリア

関ノ岳
塩見岳
赤石岳
光岳
赤石温泉
白樺荘
山伏
井川
センター
守又峡温泉
夢の語り橋
南東粒山
緑明峡温泉

募集作品

静岡県域の南アルプス[※](左の対象エリア)の
・自然の美しさ
・自然と調和した暮らしや文化
を伝える写真・動画作品

※関ノ岳以南の静岡市井川地区と川根本町全域

写真部門

デジタルカメラ等で撮影したデータを応募フォームから応募
※カラー、モノクロいずれも応募対象
フィルムカメラで撮影し、デジタルブーク化したものもOK

動画部門

撮影した写真、動画を使った映像作品をYouTubeに限定公開し、
URLを応募フォームから応募

Instagram部門

公式アカウント「静岡県南アルプス写真・動画コンクール事務局」を
フォローして、「#南アルプス静岡」「#(撮影場所)」をつけて投稿

審査委員長

山岳写真家
映像作家
西田省三氏

各賞・賞品

特選
商品券5万円
(写真・動画各1点)
審査委員長特別賞ほか
入賞多数

応募フォーム
(写真部門・動画部門)

公式アカウント
(Instagram部門)

静岡県公式HP

詳細は裏面の応募規約、静岡県公式HPをご覧ください

主催：静岡県 後援：環境省関東地方環境事務所 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会(予定)

写真・動画コンクールちらし

4 財源

- ・南アルプスの環境保全に関する知識の普及及び活動の促進その他環境の保全に資する事業に要する経費に充てることを目的に、令和3年3月26日に南アルプス環境保全基金を設置。
- ・令和6年度までに2億円積み立てることを目標に、各方面に寄附を募っている。

| | | | |
|-----|---|----------------------|-------------------|
| 財源 | ふるさと納税、企業版ふるさと納税、寄附金、県の予算 | | |
| 使途 | 南アルプスの環境保全に関する知識の普及と活動の促進、環境保全に関する事業の経費 | | |
| 積立額 | 県 | 1億5,000万円 | |
| | 個人寄附額 | 1,076万円 | 目標 5,000万円 |
| | 企業寄附額 | 1,311万円 | |
| | 計 | 2,387万円 (令和6年10月末現在) | |



ふるさと納税（個人）はこちら



企業版ふるさと納税（県外企業）はこちら

※その他の寄附については、静岡県くらし・環境部環境局自然保護課までお問い合わせください。